

IV 参考資料

1 市立病院等の医療提供体制のあり方に関する検討会

(北九州市の小児救急医療体制に関すること) 構成員名簿

(五十音順、敬称略)

構成員名	役 職
あない けんろう 穴井 堅能 (代理出席)	公益社団法人北九州市医師会 会長
やました ひろのり 山下 博徳	公益社団法人北九州市医師会 副会長
おがた ひろや 尾形 裕也	九州大学 名誉教授
こが かずよし 古賀 一吉	北九州地区小児科医会 会長
なかにし よういち 中西 洋一	地方独立行政法人北九州市立病院機構 理事長
ふかの れいじ 深野 玲司	産業医科大学 小児科学教室 教授
まつなが ひろみ 松永 裕己	北九州市立大学大学院マネジメント研究科 教授・研究科長
むとう まさき 武藤 正樹	社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院グループ理事

2 市立病院等の医療提供体制のあり方に関する検討会

(北九州市の小児救急医療体制に関すること) 開催経過

開催	時期	議題
第1回	令和6年11月1日	市の地域医療の現状、市の政策医療、市立病院機構の概要
第2回	令和6年12月24日	医療センターに求められる役割（担うべき政策医療：周産期母子医療・感染症医療）、役割を果たすために必要な機能（診療科など）
第3回	令和7年4月14日	医療センターの施設・設備における現状と課題
第4回	令和7年6月23日	医療センターの役割・機能・経営面を踏まえた病院規模と施設のあり方
第5回	令和7年8月8日	中間とりまとめ
第6回	令和7年10月27日	北九州市の小児救急医療体制の「現状と課題」について
第7回	令和7年12月22日	第6回の意見集約と新たな意見の聴取
第8回	令和8年2月17日	持続可能な小児救急のあり方に関する主な意見のまとめ

3 図表

○図表 1：医療圏について

1 医療圏の種類

一次医療圏	診療所の外来診療など日常的な医療を提供（原則、市区町村単位）
二次医療圏	救急医療を含む、一般的な入院治療が完結するよう設定（原則、複数の市区町村単位）
三次医療圏	重度のやけどの治療や臓器移植など特殊医療や先進医療を提供（原則、都道府県単位）

2 福岡県内の二次医療圏について

福岡県が、医療法に基づき、主として病院および診療所の病床の整備を図るべき地域単位として設定した医療計画上の区域。

県内には「北九州医療圏」をはじめ、「福岡・糸島医療圏」、「久留米医療圏」など合計13の圏域がある。

【北九州医療圏の概要】

構成市町村：2市4町（北九州市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町）

○面積：601.05km²

○人口：1,070,780人（令和2年国勢調査）

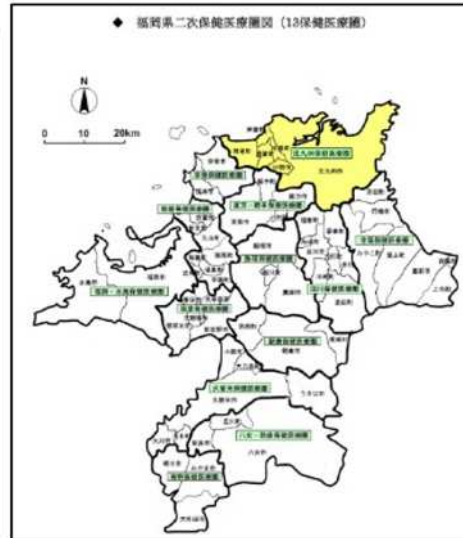
 [うち年少人口(0～14歳)：127,456人]

 [うち生産年齢人口(15～64歳)：599,582人]

 [うち老年人口(65歳以上)：343,742人]

○出生数：6,658人（令和4年福岡県保健統計年報）

○死亡数：14,886人（令和4年福岡県保健統計年報）



○図表 2：北九州医療圏の救急医療体制について

1 圏内の医療機関数について

北九州医療圏は、北九州市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町の2市4町で構成されている。圏内の病院数は、101施設で一般診療所数は、1,044施設である。

【出典】令和5年度医療施設調査(令和5年10月1日時点)

2 圏内の救急医療体制

1次救急医療体制		2次救急医療体制		3次救急医療体制				
門司区	門司休日急患診療所	門司区	門司メディカルセンター	戸畑区	小倉北区	北九州総合病院 救命救急センター		
小倉北区	夜間・休日急患センター		九州鉄道記念病院		八幡西区	正和中央病院	八幡東区	市立八幡病院 救命救急センター
若松区	若松休日急患診療所		門司済済会病院		戸畑区	済生会八幡総合病院		
八幡西区	第2夜間・休日急患センター		新小文字病院		戸畑区	産業医科大学病院		
遠賀町	遠賀中間休日急病センター	小倉北区	市立医療センター	戸畑区	戸畑共立病院	北九州医療圏には、 5箇所の1次救急、 27箇所の2次救急、 2箇所の3次救急の 医療体制が整備されて いる		
			健和会大手町病院	戸畑区	戸畑総合病院			
			小倉記念病院	芦屋町	芦屋中央病院			
			新小倉病院	遠賀町	健愛記念病院			
			三萩野病院	中間市	おんが病院			
			北九州総合病院	中間市	新中間病院			
		小倉南区	国立小倉医療センター	水巻町	福岡新水巻病院			
			九州労災病院	水巻町	水北第一病院			
		若松区	産業医科大学若松病院					
		八幡東区	製鉄記念八幡病院					
			市立八幡病院					

【出典】ふくおか医療情報ネット(令和7年4月1日現在)

○図表3：北九州医療圏の将来人口推計について

年齢階級	2020年 (R2)	2025年 (R7)	2030年 (R12)	2035年 (R17)	2040年 (R22)	2045年 (R27)	2050年 (R32)	増減率 (対R2年)
年少人口 (0～14歳)	127,456	114,456	103,505	97,107	93,953	90,319	85,012	△33.3%
生産年齢人口 (15～64歳)	599,582	576,673	553,320	522,040	478,068	444,213	418,020	△30.3%
老年人口 (65歳以上)	343,742	342,608	335,977	331,582	335,515	329,864	319,919	△6.9%
総人口	1,070,780	1,033,737	992,802	950,729	907,536	864,396	822,951	△23.1%



北九州医療圏の総人口は、今後、減少していく見込み。

なお2050年の人口増減率(対2020年)を年齢階級別に見ると、すべての年齢階級において減少している。

【出典】国立社会保障・人口問題研究所「年齢(5歳)階級別将来推計人口」

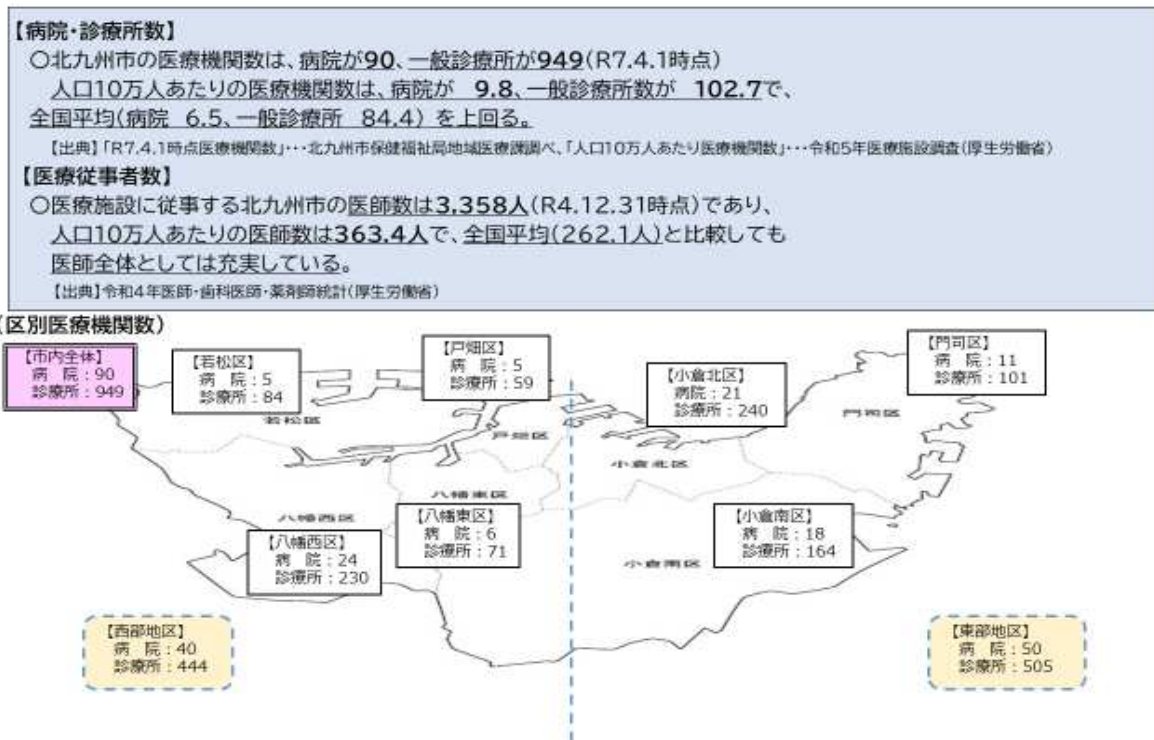
○図表4：北九州医療圏の医療需要について



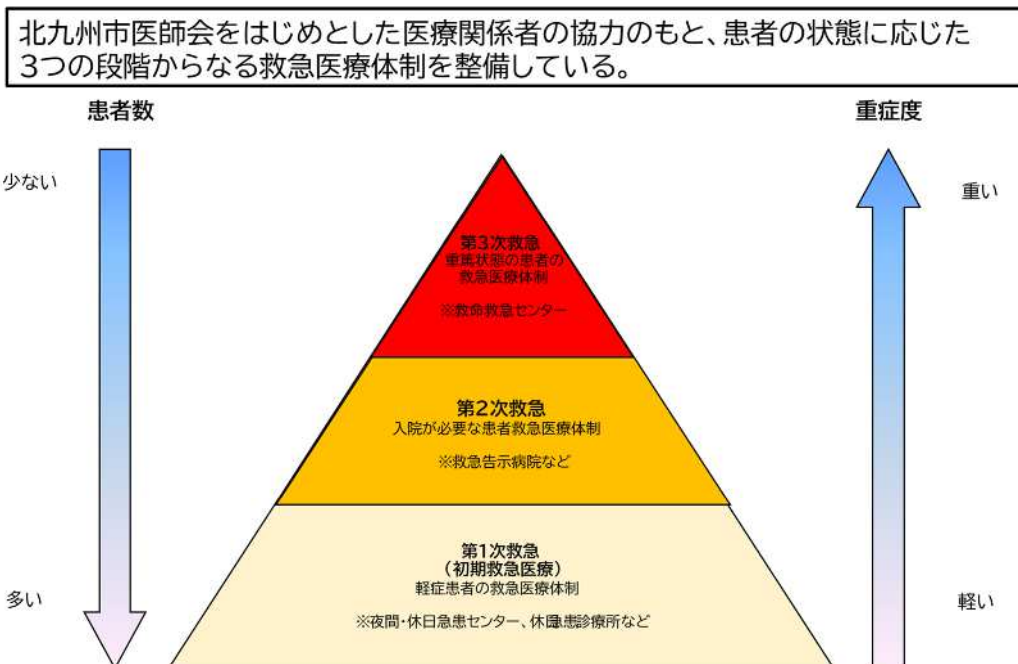
2050年の北九州医療圏の医療需要は、2020年を100とすると、89まで減少する見込み。(全国平均:99、福岡県:102)

【出典】日本医師会 地域医療情報システム

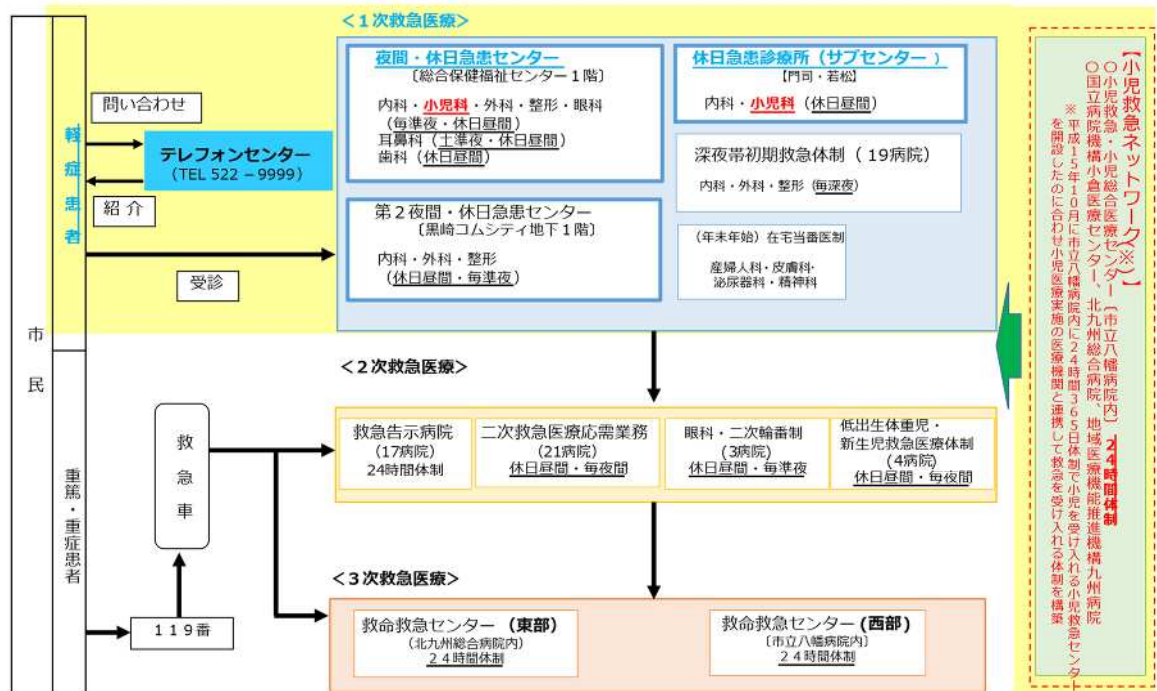
○図表 5：北九州市の医療提供体制



○図表 6：北九州市の救急医療体制の概要



○図表 7：北九州市の救急医療の流れについて



○図表 8：北九州市が運営する夜間・休日急患センター

<診療科目及び診療時間>

NO	施設名	診療科目	診療時間	
①	夜間・休日急患センター (小倉北区馬借一丁目)	内科 小児科 外科・整形外科	月～土	19時30分～23時30分
			日、祝・休日、盆	9時～23時30分
			年未年始	9時～翌9時
		耳鼻咽喉科	土	19時30分～23時30分
			日、祝・休日	9時～23時30分
			盆	9時～17時
			年未年始	9時～翌9時
		眼科	月～土	19時30分～23時30分
			日、祝・休日	9時～23時30分
			盆	19時30分～23時30分
歯科	年未年始	9時～17時		
	日、祝・休日 盆、年未年始	9時～17時		
②	休日急患診療所 (門司・若松)	内科 小児科	日、祝・休日 年未年始	9時～17時
③	第2夜間・休日急患センター (八幡西区黒崎)	内科 外科 整形外科	月～土、盆	19時30分～23時30分
			日、祝・休日 年未年始	9時～23時30分

○図表 9、10：夜間・休日急患センター等の診療実績①、②

NO	施設名	診療科目	診療帯	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
									患者数	1日当たり患者数
①	夜間・休日急患センター	内科	平日夜間	2,024	433	528	1,141	3,081	2,723	9
			休 日	4,591	637	1,549	3,414	5,627	5,872	77
			計	6,615	1,070	2,077	4,555	8,708	8,595	-
		小児科	平日夜間	1,126	204	315	684	1,649	1,261	4
			休 日	2,548	347	665	1,856	2,955	2,307	30
			計	3,674	551	980	2,540	4,604	3,568	-
		外科 整形外科	平日夜間	1,139	736	848	1,230	1,427	1,821	6
			休 日	1,986	1,162	1,400	1,650	2,054	2,621	34
			計	3,125	1,898	2,248	2,880	3,481	4,442	-
		耳鼻 咽喉科	平日夜間	457	191	214	289	419	367	1
			休 日	2,505	1,030	1,255	1,288	1,756	1,813	24
			計	2,962	1,221	1,469	1,577	2,175	2,180	-
		眼科	平日夜間	1,191	764	878	932	922	876	3
			休 日	1,335	737	809	743	821	923	12
			計	2,526	1,501	1,687	1,675	1,743	1,799	-
歯科	休日	551	282	266	277	353	377	5		
合 計		19,453	6,523	8,727	13,504	21,064	20,961	-		

【出典】北九州市保健福祉局地域医療課調べ

NO	施設名	診療科目	診療帯	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
									患者数	1日当たり患者数
②	門司休日急患診療所	内科	休日昼間	767	133	121	316	1,017	1,164	15
		小児科	休日昼間	1,073	179	256	350	1,044	785	10
		合 計		1,840	312	377	666	2,061	1,949	15
	若松休日急患診療所	内科	休日昼間	951	225	196	436	1,042	1,123	15
		小児科	休日昼間	1,152	224	261	437	999	730	10
合 計		2,103	449	457	873	2,041	1,853	15		

NO	施設名	診療科目	診療帯	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
									患者数	1日当たり患者数
③	第2夜間・休日急患センター	内科	平日夜間	3,309	1,333	1,211	1,704	3,081	2,889	10
			休 日	5,513	1,458	1,929	3,127	4,791	5,065	68
			計	8,822	2,791	3,140	4,831	7,872	7,954	-
		外科 整形外科	平日夜間	1,392	1,019	1,077	1,158	1,210	1,869	6
			休 日	2,100	1,322	1,398	1,507	1,629	2,309	31
			計	3,492	2,341	2,475	2,665	2,839	4,178	-
合 計		12,314	5,132	5,615	7,496	10,711	12,132	-		

【出典】北九州市保健福祉局地域医療課調べ

○図表 11：急患センター以外の1次救急体制

1 深夜帯初期救急体制							
(1) 事業概要	平成20年3月末で、第2夜間・休日急患センターで実施していた深夜帯診療が廃止されたのに伴い、引き続き深夜帯の初期救急診療を確保するため、協力病院により診療を実施						
(2) 開始年度	平成20年度						
(3) 診療科目	内科、外科、整形外科						
(4) 診療時間	毎日23時～翌7時(年末年始を除く)						
(5) 患者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>患者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>5,029</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>4,780</td> </tr> </tbody> </table>	年度	患者数(人)	令和5年度	5,029	令和6年度	4,780
年度	患者数(人)						
令和5年度	5,029						
令和6年度	4,780						

2 眼科・耳鼻咽喉科救急医療体制																					
(1) 事業概要	夜間における眼科・耳鼻咽喉科の救急患者に対応するため、眼科については、原則、開業医等による夜間・休日急患センターへの出務、耳鼻咽喉科については、原則、協力病院による当番制(1日1病院)で診療を実施																				
(2) 開始年度	平成4年度																				
(3) 診療時間	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">診療科目</th> <th rowspan="2">診療場所</th> <th colspan="2">診療時間</th> </tr> <tr> <th>平日・土</th> <th>休日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">眼科</td> <td>夜間・休日急患センター</td> <td>19時30分～23時30分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協力病院</td> <td></td> <td>9時～23時30分</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耳鼻咽喉科</td> <td>協力病院</td> <td>18時～24時</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夜間・休日急患センター</td> <td>19時30分～23時30分</td> <td>土 9時～23時30分</td> </tr> </tbody> </table>	診療科目	診療場所	診療時間		平日・土	休日	眼科	夜間・休日急患センター	19時30分～23時30分		協力病院		9時～23時30分	耳鼻咽喉科	協力病院	18時～24時		夜間・休日急患センター	19時30分～23時30分	土 9時～23時30分
診療科目	診療場所			診療時間																	
		平日・土	休日																		
眼科	夜間・休日急患センター	19時30分～23時30分																			
	協力病院		9時～23時30分																		
耳鼻咽喉科	協力病院	18時～24時																			
	夜間・休日急患センター	19時30分～23時30分	土 9時～23時30分																		
(4) 患者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>診療科</th> <th>患者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和5年度</td> <td>眼科</td> <td>1,202</td> </tr> <tr> <td>耳鼻咽喉科</td> <td>1,544</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">令和6年度</td> <td>眼科</td> <td>1,212</td> </tr> <tr> <td>耳鼻咽喉科</td> <td>1,547</td> </tr> </tbody> </table>	年度	診療科	患者数(人)	令和5年度	眼科	1,202	耳鼻咽喉科	1,544	令和6年度	眼科	1,212	耳鼻咽喉科	1,547							
年度	診療科	患者数(人)																			
令和5年度	眼科	1,202																			
	耳鼻咽喉科	1,544																			
令和6年度	眼科	1,212																			
	耳鼻咽喉科	1,547																			

3 (年末年始)在宅当番医制																
(1) 事業概要	夜間・休日急患センターで診療を行っていない泌尿器科等について、多くの医療機関が休診となる年末年始、協力医療機関による診療体制を確保する事業															
(2) 開始年度	昭和50年度															
(3) 診療科目	泌尿器科、産婦人科、精神科															
(4) 診療時間	年末年始 9時～翌9時(年末年始:12/31～1/3)															
(5) 患者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">診療科目</th> </tr> <tr> <th>泌尿器科</th> <th>産婦人科</th> <th>精神科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	診療科目			泌尿器科	産婦人科	精神科	令和5年度	24	24	6	令和6年度	23	17	3
年度	診療科目															
	泌尿器科	産婦人科	精神科													
令和5年度	24	24	6													
令和6年度	23	17	3													

○図表 12：北九州市の2次救急医療体制①

1 二次救急医療応需業務																	
(1) 事業概要	平日夜間や休日に入院治療を必要とする重症患者の受け入れのため、協力病院による診療体制を構築している。																
(2) 開始年度	昭和53年度																
(3) 診療科目	内科、外科、眼科(※年末年始のみ)																
(4) 診療時間	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">診療科目</th> <th colspan="2">診療時間</th> </tr> <tr> <th>平日</th> <th>休日・年末年始</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">内科・外科</td> <td>18時～翌9時</td> <td>9時～翌9時</td> </tr> </tbody> </table> <p>※眼科については、年末年始期間のみ</p>	診療科目	診療時間		平日	休日・年末年始	内科・外科	18時～翌9時	9時～翌9時								
診療科目	診療時間																
	平日	休日・年末年始															
内科・外科	18時～翌9時	9時～翌9時															
	(5) 患者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(内科・外科)</th> <th colspan="2">(眼科)※年末年始のみ</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>患者数(人)</th> <th>年度</th> <th>患者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>31,373</td> <td>令和5年度</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>32,520</td> <td>令和6年度</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table>	(内科・外科)		(眼科)※年末年始のみ		年度	患者数(人)	年度	患者数(人)	令和5年度	31,373	令和5年度	26	令和6年度	32,520	令和6年度
(内科・外科)		(眼科)※年末年始のみ															
年度	患者数(人)	年度	患者数(人)														
令和5年度	31,373	令和5年度	26														
令和6年度	32,520	令和6年度	41														

2 眼科二次輪番制											
(1) 事業概要	急患センターでは対応できない重症患者を受け入れるため、協力病院による輪番制での診療体制を構築している。										
(2) 開始年度	平成25年度										
(3) 診療時間	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">診療科目</th> <th colspan="2">診療時間</th> </tr> <tr> <th>平日</th> <th>休日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">眼科</td> <td>夜間 18時～24時</td> <td>昼間 9時～18時</td> </tr> <tr> <td>休日 18時～24時</td> <td>夜間 18時～24時</td> </tr> </tbody> </table>	診療科目	診療時間		平日	休日	眼科	夜間 18時～24時	昼間 9時～18時	休日 18時～24時	夜間 18時～24時
診療科目	診療時間										
	平日	休日									
眼科	夜間 18時～24時	昼間 9時～18時									
	休日 18時～24時	夜間 18時～24時									
(4) 患者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>患者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	年度	患者数(人)	令和5年度	51	令和6年度	65				
年度	患者数(人)										
令和5年度	51										
令和6年度	65										

○図表 13：北九州市の2次救急医療体制②

3 低出生体重児・新生児救急医療体制

(1) 事業概要	出生と同時に緊急な治療を必要とする低出生体重児・新生児の医療を確保するため、市内4病院の輪番体制で診察を行っている。	
(2) 開始年度	昭和57年度	
(3) 診療時間	診療時間	
	平日	夜間 17時～翌9時
	休日	昼間 9時～17時
		夜間 17時～翌9時
(4) 患者数	年度	患者数(人)
	令和5年度	430
	令和6年度	510

○図表 14、15：年少者人口推計について

【北九州市全域】

(単位:人)

年齢階級	2020年 (R2)	2025年 (R7)	2030年 (R12)	2035年 (R17)	2040年 (R22)	2045年 (R27)	2050年 (R32)	増減率 (対R2)
年少人口	0～4歳	33,830	29,587	28,553	28,141	26,931	25,332	△30.9%
	5～9歳	37,862	33,147	29,235	28,208	27,829	26,680	△33.6%
	10～14歳	39,720	37,273	32,823	28,977	27,957	27,586	△33.4%
	小計①	111,412	100,007	90,611	85,326	82,717	79,598	△32.7%
全人口計②	939,029	907,778	873,315	837,844	801,253	764,423	728,898	△22.4%
年少割合(①/②)	11.9%	11.0%	10.4%	10.2%	10.3%	10.4%	10.3%	—

【出典】国立社会保障・人口問題研究所「年齢(5歳)階級別将来推計人口」

※2020年は国勢調査結果の数値



2050年の年少人口の減少率を区別に見ると、門司区(△50.3%)が最も減少率が大きく、次いで、若松区(△37.2%)、八幡東区(△35.0%)と続く。
※資料集P12参照

2050年には、年少人口が、2020年と比較し、約33%減少する見込み
(参考:福岡県 △24.1%、福岡市 △12.8%)

【年少人口推計(区別)】

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増減率
門司区	9,739	8,052	6,776	6,005	5,617	5,273	4,836	△50.3%
小倉北区	19,801	18,707	17,676	17,037	16,687	16,181	15,373	△22.4%
小倉南区	27,144	24,237	22,147	20,986	20,442	19,696	18,545	△31.7%
若松区	10,218	9,308	8,218	7,529	7,180	6,854	6,417	△37.2%
八幡東区	7,002	6,259	5,588	5,167	4,995	4,807	4,552	△35.0%
八幡西区	31,222	27,793	25,026	23,783	23,162	22,374	21,096	△32.4%
戸畑区	6,286	5,651	5,180	4,819	4,634	4,413	4,150	△34.0%



【出典】国立社会保障・人口問題研究所「年齢(5歳)階級別将来推計人口」